Good Neighbors Japan

Good Change for the World

グッドネーバーズ・ジャパン 年次報告書

2019

2019.1 - 2019.12

ごあいさつ

日頃より私どもグッドネーバーズ・ジャパンにご支援・ご協力くださっている皆様にあらためて感謝を申し上げます。今年も、昨年の活動をまとめた「年次報告書」を皆様にお届けいたします。

国際NGOグッドネーバーズ・インターナショナルは昨年も、全世界で236万人以上の子ども達、教師、そして地域住民を対象に教育や医療、収入向上支援など様々なプログラムを実施しました。
グッドネーバーズ・ジャパンはその日本法人として、アジア・アフリカにおける子どもの教育支援を中心とした地域開発や災害時の緊急支援、そして日本国内でひとり親家庭の支援を実施しております。2019年は、インドネシアのスラウェシ島地震(2018年)被災者の新たな生活のスタートになるよう、140戸の仮設住宅を建設し、サイクロンが上陸したモザンビークでは4つの公立小学校において計10教室を再建しました。
国内でも、被害が広範囲に及んだ台風19号において、長野県長野市と福島県いわき市の災害ボランティアセンターへ約二ヶ月にわたりスタッフを派遣したり、東京からボランティアバスを運行して、被災者の方がきれいになった自宅で生活ができるよう支援しました。また、ひとり親世帯を対象としたフードバンク「グッドごはん」では、一年間でのべ1,684世帯に食品を配付することができました。
これらの活動はすべて、私たちの活動を応援してくださる皆様のご支援があってできたことです。あらためて感謝申し上げます。

今、新型コロナウイルス感染症により世界は不確実性を増し、私たちのライフスタイルは変容の岐路に立っています。2020年5月に「グッドごはん」利用者に実施したアンケートでは、75%が「コロナ禍で収入が減った/減る見込み」と答えており、失業や減収、借金や支払いの滞納があるケースも多くみられました。再就職でも不利な立場に置かれやすいひとり親家庭が生活を立て直すには、長い時間がかかるものとみられます。

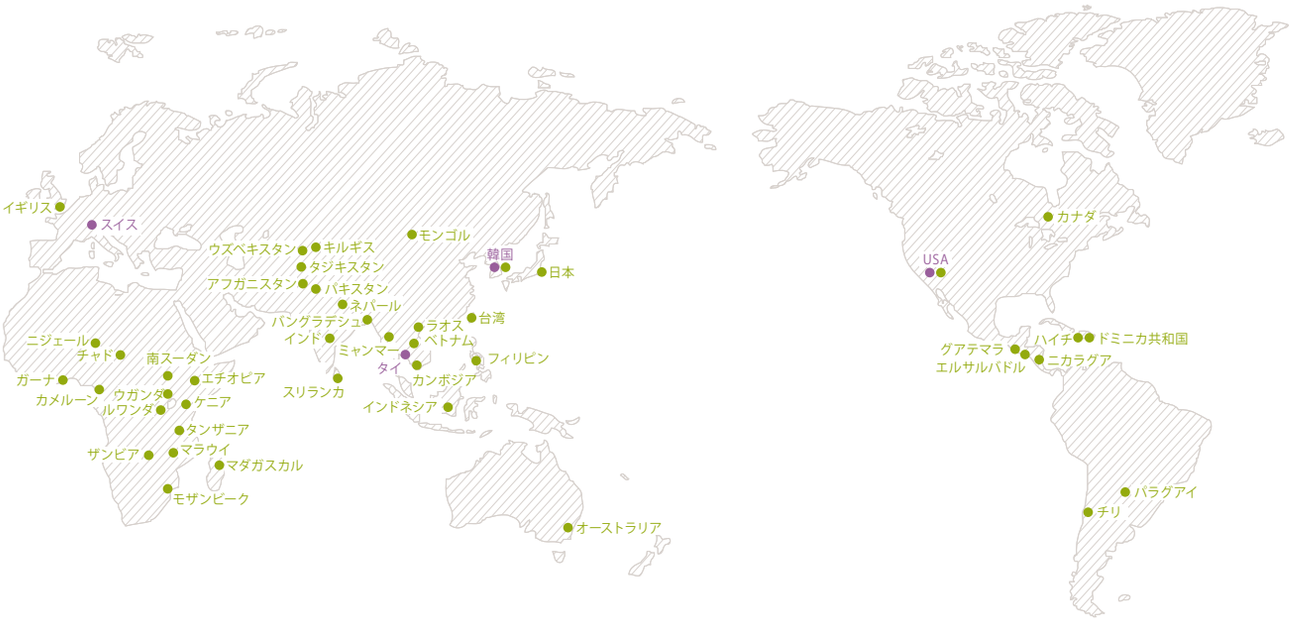
後発開発途上国でも、休校や保護者の失業などにより児童労働が増え学校に戻れなくなる子どもが増加すると危惧されています。この時勢に持続可能な開発目標(SDGs)をどのように達成し、「持続可能」で「誰も取り残さない」世界を作るため何をすべきか。私たちは考え、この急激な変化に立ち向かっていかなければなりません。
世界40か国以上に広がるグッドネーバーズは、支援する20万人以上の子どもたちと支援を必要とする国内外の子どもたちのために、支援者の皆様と共に力を尽くしてまいります。

福井 玲

グッドネーバーズ・ジャパン代表理事
東京大学教授

活動地域

● 事業実施国　● グローバルオフィス



活動分野

2019年の成果

40カ国以上で、20万人以上の子ども達を支援しています

地域開発プロジェクト

支援を受けた子ども
206,082人

参加した地域住民
2,155,845人

教育支援
1,522,876人

保健医療支援
3,169,802人

水・衛生支援
638,319人

収入向上支援
71,959世帯

アドボカシー
255,062人

緊急支援
394,320人

海外事業

教育

ネパール山岳地帯の通学風景

2019 年の成果

学校設備
1,116,883人

学費・学用品
220,340人

教職関係者研修
4,598人

教育の権利促進
111,746人

ホープスクール
69,309人

バングラデシュ

ICT 教育で夢と未来を応援

PC資格合格率
80%

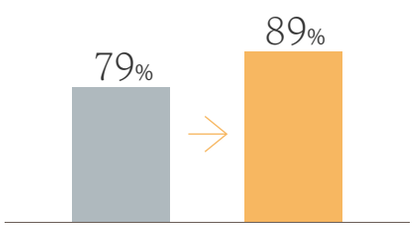
PCトレーニングを受けた学生 1,917人

資格を取った学生 1,519人

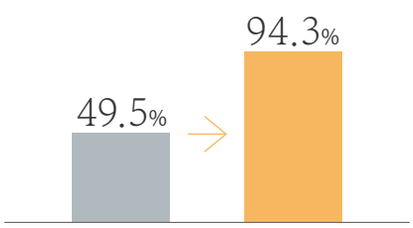
IT技術に興味があってもコンピューターがなかったのですが、グッドネーバーズのICT教育のおかげで学ぶことができました。今は、身に着けたPCとプログラムの知識をうまく活かして、未来に向けた準備をしています。

ハリスイ カルマカ / ICTクラス受講生

バングラデシュの都市部と農村部の間には、教育へのアクセスや質が均等でないという、深刻な教育格差問題があります。
グッドネーバーズ・バングラデシュは、情報通信技術(ICT)を活用して、農村部の教育環境が不十分な8つの地域で、教育の強化に取り組みました。
また、「子どもの権利」に関するアプリを開発し、教育の権利を訴える活動も進めました。これにより、生徒たちが自分の権利を守る力と知識を学ぶだけでなく、周りの大人の意識にも変化が見られました。



出席率



参加者の「子どもの権利」認識の割合

タブレット端末で授業を受ける生徒たち

ニジェール

大人も学ぶことで、教育の大切さを理解

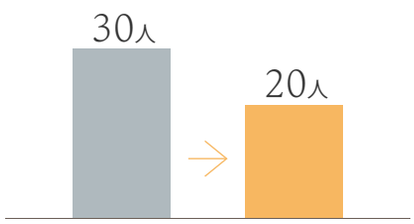
教室と識字教育センターの建設
7教室

識字教育に参加した親
97人

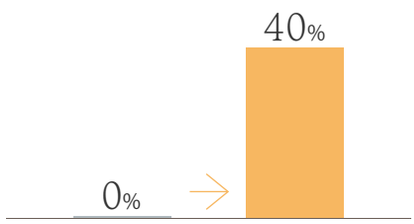
教育は私の人生に大きな変化をもたらしました。文字を知らなかった私が本を読み、手紙を書き、計算もできるようになって、子ども達への教育もいかに重要か気づきました。私が経験した変化を子ども達も感じられるよう、手助けしようと思います。

ロウカヤ カルパ /
識字教室に参加した保護者

ニジェール共和国ダライ地域のコールジョーノメ村に住む人々の96%は、1日の収入が1ドル未満と経済的に苦しく、学校に行けずに畑仕事を手伝わなければならない子どもが多くいます。また、地域住民の識字率も低く、学校環境も劣悪で様々な学年の生徒が1つの教室で勉強していました。
グッドネーバーズ・ニジェールは、村の教育環境を充実させるため、6教室を増築したほか、識字教育センターをつくり、保護者や地域住民の識字教育と「子どもの教育を受ける権利」推進活動に努めました。



1教室あたり生徒数

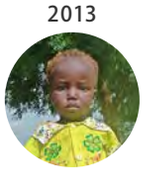


識字教育参加者の識字率

識字教室で学ぶ母親たち

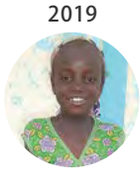
グッドネーバーズ・ジャパンの成長ノート①

2013



身長：84cm
体重：11kg

2019



115cm
20kg

ギーズル　アリ　アマールちゃん　9歳（チャド）

ギーズルちゃんは活発な性格で、おもちゃが好きな女の子です。昨年度末、進級するにはもう少し勉強が必要と判断されたため、今年もヨナスクールの1年生としてがんばっています。
好きな教科は算数で、将来の夢は教師になることです。土とレンガでできた家で祖母、両親、兄2人、弟1人、妹1人と一緒に暮らしています。父親が農業を営み生計を支えていますが、生活は楽ではありません。
グッドネーバーズから、学費と学用品などの支援を受けています。

※チャドの教育制度　初等教育（5年制）、中等教育（7年制）

2013

身長：123cm
体重：24kg

2019

148cm
45kg

スリヤ マラリくん　15歳（インド）

スリヤくんは勤勉な性格で、なわとびが好きな、中等学校の9年生です。好きな教科は科学で、夢は警察官になることです。祖父母、両親と一緒に暮らしています。
南部の州に住んでいましたが、干ばつによって農業の収穫がなくなり、職を求めてカルナータカ州のチクジャラに移住してきました。両親は採石場で働いていますが、収入は十分ではなく、生活も楽ではありません。
グッドネーバーズから、家庭訪問、ビタミン剤配付、健康診断、学用品支援、課外授業等の支援を受けています。

※インド・チクジャラの教育制度　小学校4年制、中等学校6年制

医療・保健

パラグアイの歯科診療所

2019年の成果

保健医療設備支援
1,998件

母子保健サービスの質向上
1,480,031人

病気の予防と健康管理
1,559,421人

栄養の支援と管理
120,800人

地域保健員、村の保健委員会支援
9,550人

カンボジア

赤ちゃんと妊産婦の健康を見守る

保健所で産前産後ケアを受けた妊産婦
2,041人

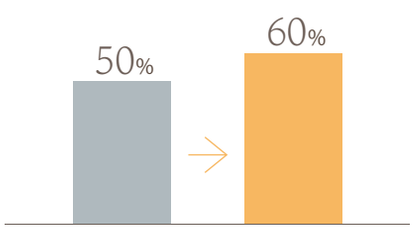
専門教育を受けた医療スタッフ
26人

いとこが保健所で出産し、安産だったのを見て、私も保健所に通い産前ケアを受けました。超音波検査で赤ちゃんの成長を見守ることができ、安心に繋がりました。

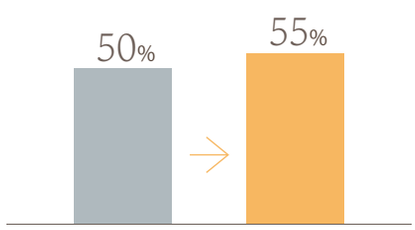
タ チャン ホン / 保健所で出産した母親

カンボジアのチェンアク地域では、妊産婦と赤ちゃんが定期検診や超音波検査、産前産後の母子保健サービスを十分に受けられていませんでした。また、適切に赤ちゃんの世話をできるような、保護者に対する育児教育（母親学級）が必要とされていました。

グッドネーバーズ・カンボジアは良質な母子保健サービスを提供するため、医療機器と医薬品を支援したほか、専門教育により医療スタッフの能力を強化しました。また、母親学級には100名の妊産婦が参加し、母乳育児と栄養バランスのよい食事について学びました。



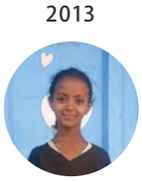
バランスのとれた栄養食を摂取した幼児の割合



6か月間 完全母乳の乳児の割合

グッドネーバーズ・ジャパンの成長ノート②

2013



身長：131cm
体重：29kg

2019

164cm
55kg

ハナン　モハメドちゃん　16歳（エチオピア）

ハナンちゃんは、エチオピアの首都アディスアベバのリデタというスラム地域に住んでいます。現在、小学校8年生として勉強をしています。優しい性格で、美術が好きです。両親とは離れて暮らしており、5人の親戚がハナンちゃんと一緒に暮らして面倒を見てくれています。

グッドネーバーズにより、家庭訪問、健康診断、衛生用品、食品配付などの支援を受けています。

※エチオピアの教育制度　小学校8年制、中等教育課程校4年制

水・衛生

タンザニアの手洗い場支援

2019年の成果

飲料水・衛生施設支援
454,356人

衛生教育・研修
181,203人

水・衛生管理委員会活動支援
2,760人

アフガニスタン

トイレと衛生環境の改善

トイレ設置支援
30基

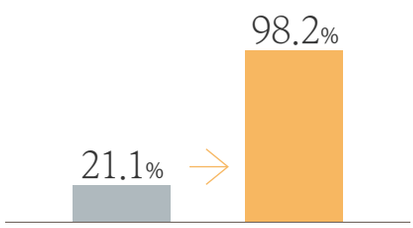
衛生意識改善教育
270名

世界手洗いの日キャンペーン参加者
1,000名

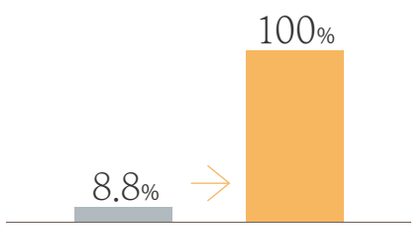
食事の前後だけでなく、トイレや動物を触った後にも手を洗わなければならないことを学びました。非衛生的な習慣がどれだけ危険かを知ってから、私から変わらなければという思いで生活しています。

ジャパ アリ / カブール地域住民

アフガニスタンのカブール地域ではトイレ等の衛生施設が著しく不足し、住民の衛生意識も低いものでした。飲料用水源も安全に管理できておらず大腸菌などの細菌に汚染され、地域住民は、水因性疾病で苦しめられてきました。
グッドネーバーズ・アフガニスタンは地域の衛生環境を改善するため、30世帯にトイレを支援し、非衛生的な習慣がどのような健康被害をもたらすか、住民自らが問題意識を持つよう手助けしました。また、フィルターでろ過した飲料水の保管方法や手洗い教育などを通して、子どもと地域住民が衛生習慣を持つよう促しました。



石鹸で手洗いをする住民の割合



安全な飲料水を保管する家庭の割合

トイレ後に手洗いをする女の子

グッドネーバーズ・ジャパンの成長ノート③

2013

身長：113cm
体重：17kg

2019

132cm
32kg

スルチ スナールちゃん　12歳（ネパール）

スルチちゃんはネパールのバレー地域に住んでいます。父親はすでに他界しており、母親、兄1人、姉1人と一緒に暮らしています。歌が好きで夢は歌手になること、好きな教科は国語です。
家は竹、トタン、土、木でできています。母親が日雇い労働をして生計を担っていますが、生活は楽ではありません。
グッドネーバーズより、学費、学用品、家庭訪問、健康診断、課外授業等の支援を受けています。

※ネパールの教育制度　基礎教育（小学校）8年制、中等教育（中等教育課程校）4年制

収入向上支援

フェルトコースターを製作する女性たち（キルギス共和国）

2019年の成果

収入向上支援
71,959世帯

協同組合支援
982の組合

社会的企業
14社

能力強化研修
98,600人

カンボジア

トゥクトゥクで安定収入

以前の仕事では、1日の稼ぎは約530円でしたが、運転手になってからは約1,600円に増えました！おかげで服や食べ物など必要なものを買い、家族を養えるようになりました。何より、医者を夢見る娘をこれからも応援することができるのが嬉しいです。

サベウルン / トゥクトゥク運転手

「トゥクトゥク」と呼ばれる三輪タクシーは、カンボジア国民の重要な交通手段として知られています。
そんなトゥクトゥクの運転手をして収入を得たいと考える人は多くいますが、低所得の地域住民にとって、約32万円を超える車両費を用意することは簡単ではありません。ローンを組んでも年率21%と金利が高く、得た収入の大部分が返済で消えてしまいます。
グッドネーバーズ・カンボジアは住民の経済的な自立を促進するため、6%程度の低い金利で組合員に融資する収入向上プログラムを実施しました。これにより組合員は、少ない初期費用で職業訓練も受け、タクシー業務を始めることができます。彼らは自立に向かって今日も安全運転でがんばっています。

トゥクトゥク貸出
20台

→

タクシー運転手雇用
20名

→

職業訓練
20名

→

組合員の月収
約21,000円
↳約51,000円

手を振るトゥクトゥク運転手の皆さん

アドボカシー

子どもの権利を学ぶグループの子どもたち（パラグアイ）

2019年の成果

啓発キャンペーンの参加者
106,616人

子どもの権利委員会の参加者
116,587人

出生登録をした子どもの数
31,859人

政策懇談会開催数
53回

政策提言書提出
33件

子どもの権利に関する法律や条例の改正
19件

アドボカシー：社会課題を解決するための政策提言や、キャンペーン等を通して知識を深め、行動に結びつけるための活動

バングラデシュ

「グッドダディ」は早婚防止の鍵

グッドダディキャンペーンとは
子どもの権利を理解し、児童婚防止に対して父親を巻き込み積極的な役割を果たしてもらうため、2016年にグッドネーバーズ・バングラデシュが始めたキャンペーン

早婚の危機にあった生徒の数　24人

早婚を防げた件数　6人

グッドダディキャンペーンに参加し、グッドダディとして認定された父親の数　1,673人

バングラデシュは児童婚の割合が世界で最も高い国の一つで、59%の女性が18歳未満で結婚し、そのうちの3分の1以上は15歳未満で結婚しています。（UNICEF）

14歳の娘を結婚させようとしていたある父親はこのように語りました。
「収入が少なく家族を十分に養うことも教育費を出すこともできません。だから経済力のある男性と結婚させることにしました。結婚したら幸せになってほしいです」

娘を早く結婚させる理由として貧困や慣習等があげられますが、父親は基本的には「娘の幸せ」を願っています。その気持ちは正しいものですが、児童婚は身体とこころの準備ができていない少女に性的な関係を持たせ、教育や社会参加の機会を奪います。家庭内でもしばしば不利な立場におかれます。
一方、女子の就学率が上がると、保健や栄養の知識を得るため乳幼児死亡率の減少に効果があり、また国内総生産の増加につながるという事実は、国連や世界銀行の調査でも報告されています。女子教育の効果は個人の可能性を伸ばすだけでなく、地域社会全体、そして次世代にもつながるものなのです。

グッドネーバーズ・バングラデシュは、2019年に9地域で「グッドダディ」キャンペーンを行いました。児童婚の防止のためには、家庭内で決定権を持つ父親を巻き込むことが有効であると考えています。

児童婚に対してレッドカードを掲げる父娘たち

国内事業

ちびっこおえかきコンテスト

2019年の成果

参加園
115園

集まった絵の数
1,949作品

「第13回 キッズデザイン賞」を受賞

『親子でチャレンジ国際理解！ちびっこおえかきコンテスト』は、未来を担う子どもたちが世界にふれるきっかけを作ることを目的に、発展途上国の問題について映像教材を見て絵を描くことで、親子で国際理解を深め、楽しく学べる教育プログラムです。

グッドネーバーズ・ジャパンが、公益財団法人ベネッセこども基金と共催する当コンテストは2019年、子どもや子育てに関わる社会課題解決に取り組む優れた作品を顕彰する「第13回 キッズデザイン賞」（子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門）を受賞しました。
第七回目となるコンテストには、バングラデシュでおじいちゃんと暮らす8歳の女の子、サンジダちゃんを応援する作品が集まり、最優秀賞から佳作まで50作品と団体賞が選出されました。
最優秀賞作品は、映像に出てきた雨が止むようにと、サンジダちゃんのお家にてるてる坊主と大きな虹を描いてくれた、おおひろ ゆずさんの作品です。受賞10作品と入賞作品すべてが掲載された「入賞作品集」はサンジダちゃんのもとへ届けられました。

現在、9歳になったサンジダちゃんはグッドネーバーズの支援を受け、再び学校に通っています。不自由な体にもかかわらず工事現場で働いていたおじいちゃんは、グッドネーバーズの支援により、日用品のお店のオーナーになり、安全に収入を得ることができるようになりました。

最優秀賞の作品

作品を眺めるサンジダちゃんとおじいちゃん

グッドごはん

2019年の成果

配付家庭
（2019年1月〜12月）
1,684世帯
配付家庭の子どもの人数
（のべ）2,783人

配付した食品の金額
（2019年1月〜12月）
25,744,083
円相当

子どもの「ちゃんと食べたい」のために

グッドネーバーズ・ジャパンは、国内の子どもの貧困対策への取り組みとして、フードバンク事業「グッドごはん」を行い、毎月150~200世帯のひとり親家庭に食品を配付しています。

グッドごはん利用者に行ったアンケート※1によると、半数近くが年収200万円未満で生活しており、3人以上の子どもを300万円以下で養う人も多数いる事がわかりました。ひとり親になった経緯については8割以上を「離婚」が占めますが、元パートナーから養育費を受け取っている割合は、母子家庭では約24%、父子家庭では約3%※2と低く、児童扶養手当などの公的補助金があっても、大人がひとりで子育てをすることは経済的・精神的に負担が大きいと言わざるを得ません。

また、7割の回答者が「困った時に助けを求めることに抵抗がある、助けを求められない」と回答しており、社会との繋がりがなく不安を一人で抱え込む人もいる様子が伝わってきました。

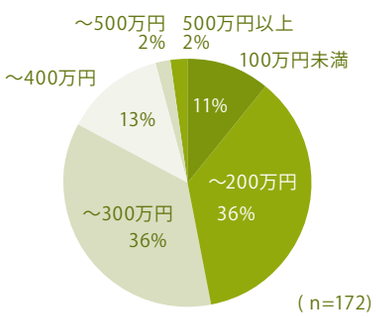
同アンケートでは、83%の利用者が「グッドごはん」により食生活が「改善した・やや改善した」と回答しました。しかし2019年は支援希望者が増える一方、食品や運搬・管理に関わる資金に限りがあり、特に希望者の多い日は5~6割の家庭にしか提供できない状態が続きました。

グッドネーバーズ・ジャパンでは作業の見直しやボランティア・企業・自治体との連携を強化して、月の配付可能数を120世帯から165世帯へ、さらに200世帯へと増やしてきました。しかしすべての希望者に食品を渡すには及ばず、また困窮するひとり親家庭は東京近郊だけではない、という現実もあります。

当団体は「グッドごはん」を継続し、東京以外でも実施するために安定した資金が必要との考えから、2020年より国内事業の継続支援による寄付を募ることと致しました。
ひとり親家庭の子どもたちが心身ともに健康に成長できるよう、今後も支援者の皆様と共に活動を続けてまいります。

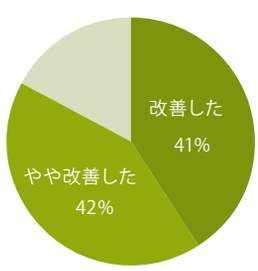
※1 グッドごはん利用者の生活実態調査/2019年9月実施（有効回答数：183件）
※2 平成28年度全国ひとり親世帯等調査/厚生労働省

グッドごはん利用者の世帯年収（公的補助金含む）



（n=172）

グッドごはんによる食生活の変化



（n=180）
2019年アンケートより

グッドごはんの食品を受け取ったとき、子どもも玄関まで出てきて、その大きさに大興奮!二年生でまだそんなに力もなく危ないというのに、嬉しくて、配達のお兄さんから荷物を半ば強引にキャッチ。「ママと僕、二人だけで頑張っているからかなぁ。嬉しいネ」って、最近ちょっと反抗気味だったので、ほろっときました。頂いた食材でお腹一杯になった子どもの表情は幸せそうで、楽しそうで、終始ニコニコ。お蔭様で私も元気をいただきました。

小学二年生の子どもを育てるシングルマザーの女性より

2019年の人道支援

2019年の成果

緊急支援	台風、洪水、地震などで被災した地域に、食料や毛布、衛生用品などを支援します。		
	パラグアイ	洪水緊急支援	5,455名
	マラウイ	サイクロン緊急支援	10,945名
	ベトナム	洪水緊急支援	200名
	モザンビーク	サイクロン緊急支援	4,000名
	日本	令和元年台風19号緊急支援	51,252名
防災・減災支援	災害への備えを強化し、被害を最小化します。		
	フィリピン	防災・減災支援	123,474名
	フィリピン	緊急支援物資備蓄事業	2,085名
	グアテマラ	緊急支援物資備蓄事業	1,500名
	バングラデシュ	緊急支援物資備蓄事業	4,000名
難民支援	支援を必要とする難民の生計、住居などを支援し、経済的自立につなげます。		
	タンザニア	コンゴ・ブルンジ難民　生計支援	31,380名
	ウガンダ	コンゴ難民　性とジェンダーに基づく暴力(SGBV)関連支援事業	56,446名
	バングラデシュ	ロヒンギャ難民　子どもと女性の保護事業	32,585名
		ロヒンギャ難民支援事業	2,400名
	ザンビア	コンゴ難民　生計支援	16,500名
	ニジェール	ハムダライ地域難民 子どもと女性の保護および教育事業	200名
復興支援	被災した地域の教育、保健などの社会基盤・生活基盤を再建し、日常生活の回復を支援します。		
	インドネシアスラウェシ島	復興支援（仮設住宅）	700名
	ネパール	復興支援	48,396名
	ラオス	復興支援（学校建築）	2,802名

グッドネーバーズは自然災害や紛争などで、国際的な人道支援が必要とされる現場で、子どもたちと地域住民が一日も早くもとの生活を取り戻せるよう活動しています。
2019年には日本を含む15カ国で洪水や地震など自然災害の被災者および難民を対象に、緊急支援や安全と生計を支援する活動を実施しました。また、近年は災害発生時の被害を抑えることができるよう、防災事業にも力を入れています。

グッドネーバーズ・ジャパンの緊急支援

【令和元年台風19号】

ボランティアの力で一日も早い復興を

2019年10月12日に東海から関東に上陸した台風19号は、1都12県に対して大雨特別警報が発表されるなど広範囲に被害をもたらしました。グッドネーバーズ・ジャパンは長野県と福島県へ職員を派遣し、被災者の方が一日も早く元の生活に戻れるよう、約二ヶ月間にわたりボランティアセンターの運営支援を行いました。

●職員派遣期間のボランティア数：
長野北部災害ボランティアセンター
42,896名
いわき市災害ボランティアセンター
8,283名

また、特にボランティア不足が深刻だったいわき市へは、東京からボランティアバスを二度運行し、延べ73名のボランティアが民家やお寺の泥だし作業、荷物の運び出し、清掃などを行いました。

台風以来、ここ(自宅)に帰ってくるのが本当に嫌だったんだけど、ボランティアさんが片づけてきれいにしてくれたから、今は帰ってきたい、と思う

自宅が床上浸水したお宅のお母さん

GNJPのボラバスは参加者も多く、災害とは関係ない作業をやらされることもなく、被災者の方にもすごく喜んでもらえて、参加して良かったと思えました。他では得難い貴重な2日間でした。

ボランティアバス参加者
（アンケートより）

※これらの事業は赤い羽根共同募金およびパブリックリソース財団の助成によって実施されました

【モザンビーク　サイクロン】

小中学校のトイレ修繕・教室再建事業

2019年3月、アフリカ南東部に上陸したサイクロン・イダイにより、モザンビークは広範囲で大雨や強風の被害を受けました。グッドネーバーズは4村で食糧配付等の緊急支援を行いましたが、特に被害の大きかったソファラ州ニャマタンダ郡の小中学校にて、破壊されたトイレの修繕や教室の再建のため、グッドネーバーズ・ジャパンの職員を現地へ派遣しました。

●学校のトイレ修繕事業（2019年5月~7月）：小中学校4校の計9,138人の生徒たちが使うのに十分な数の清潔な80部屋のトイレを設置。

●教室再建事業（2019年10月~2020年1月）：損壊した教室が多く、生徒数に対して教室が不足していた、4つの公立小学校において生徒5,969人が使用する計10教室を再建。

これにより、子どもたちの衛生環境が改善され、また安全な環境で学習することができるようになりました。

※これらの事業はジャパン・プラットフォームの助成によって実施されました。

【インドネシア　スラウェシ島地震】

140戸の仮設住宅を建設

2018年9月にインドネシアのスラウェシ島で発生した地震と津波により、7,267戸の住宅が損壊するなど大きな被害を受けたドンガラ県では、災害から1年以上が経っても多くの被災者がテントや崩れかけた家で暮らしていました。

そこでグッドネーバーズ・ジャパンは、特に被害の大きかった同県シンドゥエ郡に職員を派遣し、仮設住宅と給水設備の設置事業（2019年7月～ 2020年1月）を行いました。

●仮設住宅建設事業：トアヤ・フンタ村、ダラカ村、トワヤ村において、自宅が重度の被害を受け避難民キャンプやテントで生活している140世帯を対象に、仮設住宅を建設。

●給水設備支援事業：トアヤ・フンタ村において、公共の給水施設が損傷して十分な水を得られていない地域4ヵ所へ、1,040世帯が使える深井戸と給水塔からなる給水設備を設置。

2019年12月中旬に140戸全ての仮設住宅が完成し、年内にはほとんどの家族が入居を済ませ、広くて丈夫な家で新しい生活を始められました。

津波で家が倒壊してしまったため、家の庭にテントを張って生活していましたが、仮設住宅に入居できてとても嬉しいです。シンプルな家ですが、私たち家族にとってはとても意味のあるものです。

入居したファディラさん

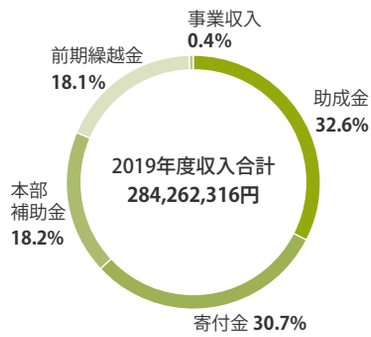
※この事業はジャパン・プラットフォームの助成によって実施されました。

会計報告

2019年度収支計算書(2019年1月1日～12月31日)

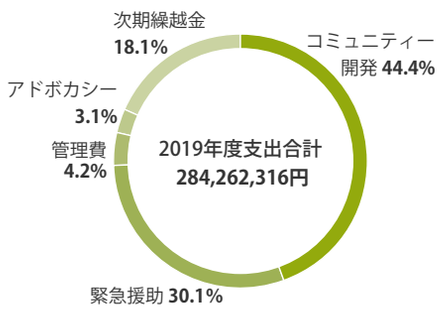
Ⅰ 経常収入の部		（単位：円）
寄付金収入		87,295,286
助成金等収入		144,472,182
助成金収入	92,645,143	
グッドネーバーズ本部補助金収入	51,827,039	
事業収入		1,066,105
その他収入		237
経常収入合計		232,833,810

Ⅱ その他資金収入の部		
計上外収益（為替差益・雑収入）		40,974
前期繰越金		51,387,532
収入合計		284,262,316



支出の部

Ⅲ 経常支出の部		
1 事業費		
(1) 開発途上国等の子ども達ならびにその家族および地域社会のための地域開発支援事業	52,119,073	
(2) 開発途上国等における、大規模自然災害または紛争等の発生時における緊急人道支援および復興支援	85,661,803	
(3) 地域開発支援事業への支援者と、開発途上国の子ども達ならびにその家族および地域社会との間の相互理解促進	11,527,491	
(4) 国際協力に対する日本の人々の理解を深める啓発事業	8,910,927	
(5) 国際協力に参加する機会を広く日本の人々に提供する普及活動	62,456,221	
寄附された物品を含む物品の販売事業	114,134	
ホームページ・会報等への広告掲載事業	0	
事業費合計		220,789,649
2 管理費		11,976,661
経常支出合計		232,766,310



Ⅳ その他資金支出の部		
法人税、住民税および事業税		70,036
計上外費用（為替差損）		3,118
退職給付費用		0
次期繰越金		51,422,852
支出合計		284,262,316
当期収支差額		0

貸借対照表(2019年12月31日現在)　（単位：円）

Ⅰ 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	16,988,684	
未収金	6,197,412	
商品	2,345,585	
貯蔵品	266,528	
寄付物資	146,353	
仮払金	3,090,000	
緊急支援等事業特定資産	28,536,932	
流動資産合計		57,571,494
2 固定資産		
退職引当特定資産	11,000,000	
敷金	803,500	
固定資産合計		11,803,500
資産合計		69,374,994

Ⅱ 負債の部		
1 流動負債		
未払金	5,469,767	
預り金	1,412,375	
未払法人税等	70,000	
流動負債合計		6,952,142
2 固定負債		
固定負債合計		11,000,000
負債合計		17,952,142
Ⅲ 正味財産の部		
前期繰越正味財産	51,387,532	
当期正味財産増減額	35,320	
正味財産合計		51,422,852
負債及び正味財産合計		69,374,994

監査報告書

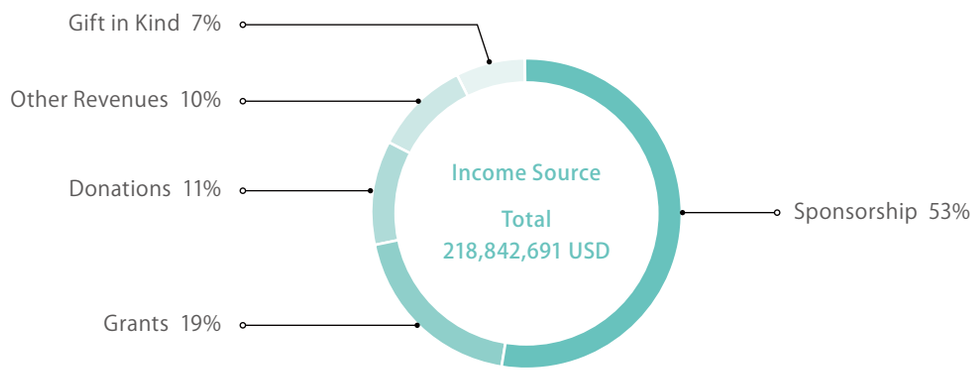
これは、JANICの「アカウンタビリティセルフチェック2012」マークです。JANICのアカウンタビリティ基準の4分野（組織運営・事業実施・会計・情報公開）について当団体が適切に自己審査したことを示しています。

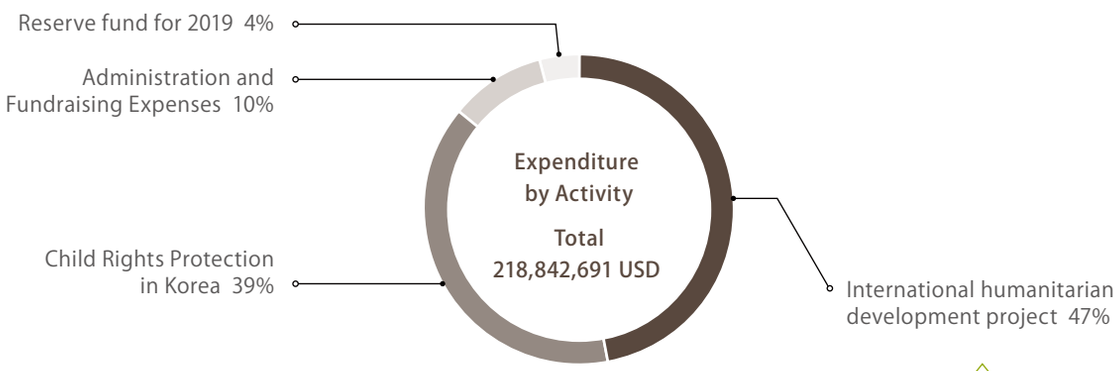
役員

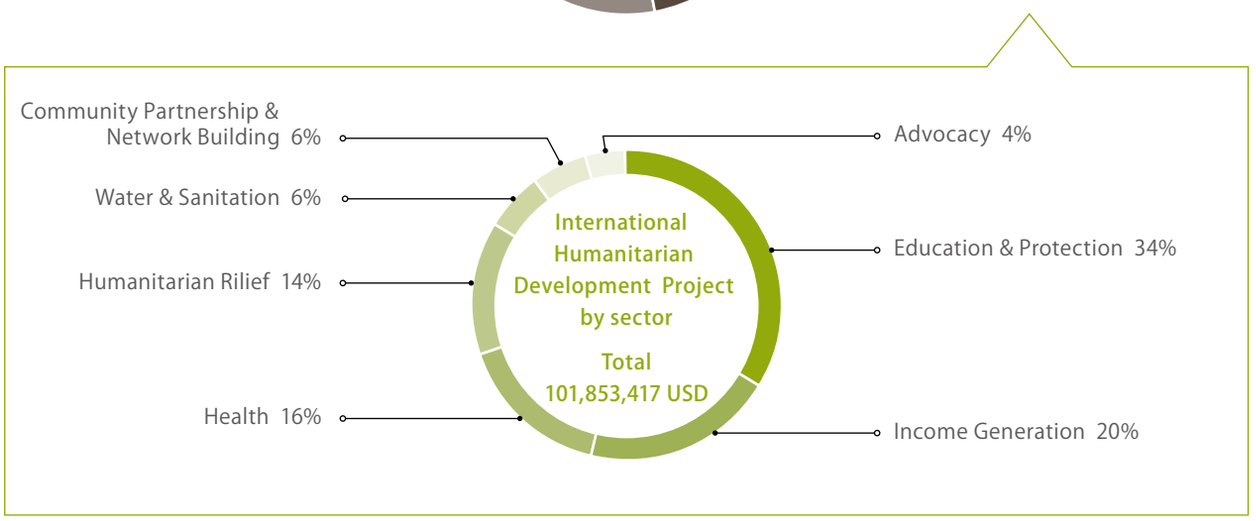
代表理事：　福井　玲（東京大学教授）
副代表理事：　韓　福相（大阪産業大学教授）
常務理事：　小泉　智（グッドネーバーズ・ジャパン事務局長）
理事：　姜　恩和（目白大学准教授）
　　崔　玟鎬（グッドネーバーズGPC事務局長）
監事：　黄　貴成（有限会社八と二　代表取締役）
法務顧問：　金子　憲康（弁護士）
財務顧問：　さくら会計事務所
労務顧問：　浅井　浩次（特定社会保険労務士）

FINANCIAL OVERVIEW (グッドネーバーズ・インターナショナル)

			Total(USD)	%
Income	Contributions	Donations	23,855,280	11%
		Gift in Kind	16,334,213	7%
		Sponsorship	116,400,940	53%
	Grants		41,359,102	19%
	Other Revenues		20,893,156	10%
	Total		218,842,691	100%
Expenditure	Program Expenses	International humanitarian development project	101,853,417	47%
		Child Rights Protection in Korea	85,649,003	39%
	Administration and Fundraising Expenses		21,726,088	10%
	Reserve fund for 2020		9,614,183	4%
	Total		218,842,691	100%







VISION

子どもの笑顔にあふれ、誰もが人間らしく生きられる社会

MISSION

国内外のパートナーと共に、
貧困および差別の原因や災害・紛争による脅威を取り除く

認定NPO法人　グッドネーバーズ・ジャパン

〒143-0016 東京都大田区大森北 2-14-2 大森クリエイトビル3階

TEL : 03-6423-1768　FAX : 03-6423-1766　E-mail : admin@gnjp.org

HP : www.gnjp.org　Twitter : @GNJapan　Facebook : gnjapan　Instagram : gn_japan